

青山さん(右)からアルミ水素の説明を聞く参加者



## アルミ水素に興味津々 児童アルハイテック見学

**高岡** 高岡地区広域事務組合の「環境学習ツアー」が17日行われた。参加者は環境ベンチャーのアルハイテック(高岡市オフィスパーク)を訪れ、廃アルミから生成する「アルミ水素」の仕組みに理解を深めた。

ツアーは再生可能エネルギーへの関心を高めようと同組合が昨年からは実施している。高岡、氷見、小矢部の3市の小学4～6年生と保護者の8

組17人が参加した。

同社上席執行役員の青山昌志さんが講師を務め、紙パックから取り出したアルミ箔を活用して水素を生み出す実験を披露。発生させた水素の力で燃料電池式のミニカーを走らせた。子どもたちも順番にミニカーを操縦し、化学の面白さに触れた。

参加者は高岡広域エコ・クリーンセンター(氷見市上田子)も見学した。

広域事務組合がツアー